



進路だより

一関学院高等学校 進路指導部
【 第9号 】 文責 _____
令和7年12月23日 (火) 発行



3年生 進路決定状況です

12/20日現在の進学合格者、就職内定者、公務員合格者の状況をお知らせします。※進学合格者・公務員合格者は延べ数です

大 学	大 学 校	看護専門学校	専修（専門）学校	就 職	公 務 員
35名	2名	3名	24名	36名	9名

進

学……今年も総合型(AO)や学校推薦型での合格者が増えています。しかし、全国の大学等では総合型や学校推薦型で合格した学生の学力低下が大きな課題になっています。合格はゴールではなく、新たな学びへのスタートです。興味関心のあることを研究したり、サークル活動に参加したり、学生でなければできない経験を積んだり、新たなものや人に出会い視野を広げたり、進学する目的はそれぞれ違うと思います。しかし、学生の本分は「学業である」ということを忘れないでください。

就

職……昨年同様、売り手市場(求人数が求人者より多い就活環境)には変わりありませんが、誰でもどんな状況の生徒でも採用されているわけではありません。近年の採用試験は面接重視の事業所が増えていますが、SPI(能力検査[言語分野と非言語分野])や性格検査が基準に達しない場合は、面接がいくら良くても不採用にする事業所も増えていきます。また、事業所を選ぶ際に賃金よりも残業や夜勤、休日を気にする生徒が多くなっています。

1・2年生

の皆さんへ……冬休み中に、卒業後の進路について家族と話し合う時間を必ず設けてください。3年生になっても、親子の進路希望が一致しないと、進路の準備や取り組みなどが遅れてしまいます。早い段階で親子の進路希望が一致すると、
進路活動も順調に進み、良い結果につながると思います。



◇ 令和8年3月新規卒業予定者の就職内定状況です ～岩手労働局公表～ ◇

先日、岩手県における令和8年3月新規卒業予定者の就職内定状況(令和7年10月末日現在)が公表されましたのでお知らせします。

※労働局公表は2カ月後れの公表になります

◇高 校 83.3%(前年同期比3.3ポイント低下)

◇高等専門学校 96.3%(前年同期比0.9ポイント上昇)

◆大 学 68.3%(前年同期比2.9ポイント低下)

◆専修学校 56.1%(前年同期比4.6ポイント上昇)

◇短期大学 50.9%(前年同期比8.7ポイント上昇)

↳ 専修学校のうち、専門課程を設置する専修学校を

◆公共職業能力開発施設 85.2%(前年同期比6.9ポイント上昇)

専門学校と呼んでいます

↳ 岩手県立産業技術短期大学校、岩手県立千厩高等技術専門学校、北上コンピュータ・アカデミーなど

大学入学共通テストに向け、ラストスパート

受験生の皆さん、1月17日(土)・18日(日)の共通テストまで約3週間になりましたが、受験勉強は順調に進んでいますか。大学進学に向けて学んできたことの集大成としての受験になりますので、睡眠や食事、運動をはじめとする生活リズムの維持と改善に努め、当日は万全の体調で臨むようにしてください。



受験票印刷、身分証も忘れずに 共通テスト「受験上の注意」

大学入試センターは5日、2026年1月に実施される大学入学共通テストの「受験上の注意」を公表した。

今回からウェブ出願が原則となったため、試験当日は各自で紙に印刷した受験票と、顔写真付き身分証の両方を持参する必要があります。受験票は今月10日午前10時以降、出願サイトの「マイページ」上で取得できるようになる。A4サイズの白い用紙に縦向きで印刷し、試験当日は常に携帯する。書き込みは一切禁止だ。本人確認のため、今回から生徒証やマイナンバーカードなど、顔写真付き身分証明書の持参も必須となる。

このほか、試験終了後であっても、問題文をネット上に投稿してはならないことなども新たに明記された。

※12月5日 時事ドットコムニュースより抜粋



2年生 インターンシップお疲れ様でした

3日(水)～5日(金)までのインターンシップお疲れ様でした。岩手県では11月中旬にインフルエンザ流行警報が発令されたため、実施できるかどうか心配しましたが、何とか無事に終えることができました。

本校では「将来選択する可能性のある職業を知り、そこで実際に働くことで自分自身の職業適性や職業生活設計など職業について深く考え、そこから勤労観や職業観を確立することや進路選択に活かすこと」を目的として実施しています。

下記は事業所の担当者から伺ったことや事業所からのアンケートをもとに掲載しました。

○評価された点

- 挨拶や返事がきちんとできていた
- 丁寧に業務をこなしていた
- 積極的に質問をしてくれた
- 明るく元気で良かった
- 笑顔が素敵だった
- 礼儀正しかった
- 仕事を黙々とこなしていた
- よく気付いて行動していた
- 教えたことを守り、分からないことは自分から聞いてくれたので良かった
- 子供たち一人ひとりに優しく丁寧に接していた
- 時間とルールを守っていた
- 優秀な生徒で仕事が捗った
- 積極的・意欲的に取り組んでいた
- 一生懸命で素晴らしかった
- 環境整備にも丁寧に取り組んでいた など

▲指摘された点

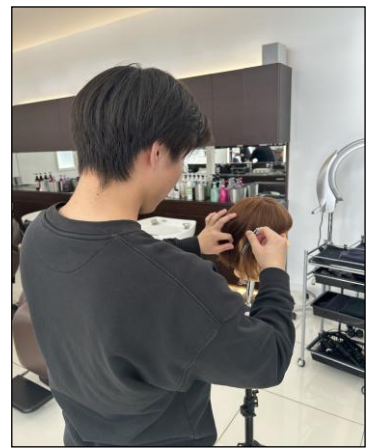
- ▲何を学びたいのか分からなかった
- ▲事前に事業所のことを調べてきてほしかった
- ▲積極性がなかった
- ▲教えてくださる方への態度が良くなかった
- ▲指示を待つだけではなく、自分からも確認をしてほしかった
- ▲周囲とのコミュニケーションが必要だと思う
- ▲挨拶と敬語がもう少しできると良かった
- ▲礼儀を身につけてほしい
- ▲緊張していたのか言葉数が少なかった
- ▲生徒が「日誌は書く必要がない」と言っていたが、それで良かったのか？
- ▲質問などを準備して臨んでほしかった
- ▲実施目的を理解した上で参加してほしい
- ▲挨拶をしっかりしてほしい
- ▲居眠りをしないように気をつけてほしい など



【ベリーノホテルー関での様子】



【ドン・キホーテー関店での様子】



【美容室ZEN一関店での様子】

広がる年内入試、私立大の8割が導入 河合塾「来年以降さらに増加」

※12月6日 毎日新聞デジタルより抜粋

大学入試で12月までに合否が決まる「年内入試」の導入が全国で広がっている。文部科学省はこれまで学力試験を2月1日以降に実施するよう求めてきたが、2026年春入学の入試からそのルールを条件付きで緩和。大手予備校の河合塾によると、解禁元年となる今回、年内に学力試験を課す大学は8割に上るといふ。

年内入試は、早い時期に合格を決めたい受験生と入学者を確保したい大学側の思惑が一致。23～25年春入学の私立大入試では入学者の約6割を「学校推薦型選抜」や「総合型選抜(旧AO入試)」の年内入試が占め、主流になりつつある。ただ、高校側は「授業の進度が追いつかない」などの理由で否定的な声が根強い。

河合塾の調査は、志願者数などを基準に全国の主要約220大学を対象に実施。年内入試の実施状況について調べたところ、9月末時点で少なくとも1学科または1方式以上で学力試験を課すとした大学は前年比3ポイント増の80%に上る。ただ、入試方式別に集計すると32%で、全体から見れば3分の1程度という。

年内入試を巡っては、近畿地方の複数の大学が事実上、学力試験のみで合否判定を長年実施しており、「2月1日ルール」が形骸化していた。24年12月には東洋大も学力試験のみで合否を決める学校推薦型選抜を実施し1万9000人以上が志願。これらを契機に文科省や高校関係者が「ルール違反」と指摘し物議を醸した。

文科省は大学や高校関係者らと協議し6月、大学入試の実施要項に年内入試での学力試験実施について、小論文や面接などの評価方法と組み合わせる場合は可能とする見解を新たに示した。

年内入試の広がりについて、河合塾教育研究開発本部の_____主席研究員は「6月のルール変更を受けてすぐに対応できなかった大学も多くあるとみられる。来年以降は実施校がさらに増える可能性がある」と指摘する。

◆進路担当者より◆ 来年以降は、私大の年内入試がかなり増えてくると思います。3年生になってから進学先を決めるのでは受験勉強をはじめ、受験準備などにも影響が出てしまいます。2年生の3月までにはオープンキャンパス等に参加し、進学希望先を決めてほしいと思います。余裕を持った受験準備ができるようによろしく願います。